

創生自民

銅座川プロムナードの進捗状況

問 今後の整備計画及び進捗状況について伺いたい。

答 銅座地区については、プロムナードの整備により、地域の防災性の向上、慢性的な交通渋滞の緩和、あわせて新たなにぎわいの創出を図ることとしている。具体的には、平成37年3月までに延長約420メートル、幅員15メートルで、両側に歩道を計画しており、特に、銅座川沿いの270メートルの区間は歩行者優先の道路として新地方から浜町方面への一方通行とし、イベントなどができる広場的な歩道空間として整備したい。

昨年度から道路の詳細設計や建物調査、移転交渉などを行っており、今後も、地域の皆様と力をあわせて一緒に取り組みたい。

生活保護制度

問 生活保護費不正受給に対する国民の目が厳しくなっているが、その未然防止策について伺いたい。

答 未然防止策としては、家庭訪問による生活実態の把握に努め、面接の機会に、収入を得た場合の申告の義務を説明するとともに、収入がない場合も

定期的な申告を行うよう指導している。

また、平成24年度からの取り組みとして、収入申告の義務の説明を受け、理解した旨の確認書を提出してもらうことや、「不正受給防止のしおり」の全被保護世帯への配付などを行って周知徹底を図っている。

今後とも、家庭訪問の充実及び収入申告の徹底により、不正受給の未然防止に努めていきたい。



▲全被保護世帯に配付

日本共産党

九州新幹線西九州ルート の時間短縮の内容

問 国は、フリーゲージトレインの場合とリレー方式の場合の時間短縮効果を公表しているが、効果は少ないと考える。それぞれ停車駅をどこに想定しているのか。

答 時間短縮効果は、フリーゲージトレインの場合が約28分、リレー方式の場合が約22分と公表されているが、停車駅については公表されていない。なお、国が別途公表している「収支

採算性及び投資効果に関する資料」において、主要な駅に停まる「速達型」の一つのパターンとして、博多・新鳥栖・佐賀・武雄温泉・諫早・長崎に、全ての駅に停まる「緩行型」では主要駅に加え肥前山口・嬉野温泉・新大村に停車することとしている。

リレー方式：在来線と新幹線を乗り継ぐ方式。西九州ルートは暫定開業では、博多―武雄温泉間は在来線、武雄温泉―長崎間は新幹線で運行する。

国連核軍縮作業部会の報告を受けての取り組み

問 国連核軍縮作業部会において、核兵器禁止条約の交渉を来年中に開始するよう国連総会に勧告する報告書が採択された。被爆都市としての交渉開始の実現に向けた取り組みについて伺いたい。

答 今年秋の国連総会において、核兵器禁止条約に関する協議と交渉の場の設置についての議論が期待される中、日本政府に対しては、唯一の戦争被爆国として先頭に立つてもらえるよう、広島市とともに働きかけたい。

また、平和首長会議で、国際社会に対して交渉開始の実現に向けた呼びかけを行うとともに、国際世論を喚起するため、被爆者の方々が取り組む「核兵器廃絶国際署名」に協力していきたい。

チーム2020

交流拠点施設

問 交流拠点施設の最適地、MICEの誘致ターゲット及び市民が理解し納得できる説明会開催の考えについて伺いたい。

答 立地場所については、高い利便性と他都市との競争力を兼ね備えており、会議運営などの専門事業者からも高く評価されている長崎駅西側を最適地として選定している。

MICEの誘致ターゲットについては、福岡との差別化を図るため、3千人規模を中心とした中規模の学会や大会、本市の特色を生かした医学や平和などの会議などを想定している。

今後、施設の詳細については、公募による具体的な内容を受け、市民の皆様により理解していただけるよう、しっかりと説明をしていきたい。



▲JR長崎駅との位置関係